

通常総会を開催

材工連携で苦境を克服

JERRコンクリ補改協

JERRコンクリート補

改修協会は8月1日、東京・港区のホテルアジュール竹芝で通常総会を開催した。審議された議案はすべて可決承認された。

冒頭、挨拶に立った佐

藤臣良会長(写真)が「厳しい環境が続くが、工手が手を携えて勝ち抜いて参りたい。材料メーカーとして多品種の製品を



提供しており、会員各位

の施工能力も確かだ。今後は資格取得者を増員してさらに体制を盤石にし、ユーザーに安心と信頼を提供し続ける。また、人手不足が要因で受注量の減少が懸念されるので、組織として人手確保に取り組むことで、受注機会を高めていく」と述べた。

新年度の事業計画とし

て、施工管理者や作業員の雇用と育成を進めることで、人手不足による受注量減の解消を目指す制度を立ち上げる。また、コンクリート防食技士資格所有者の増加を目指して協会専門技術者数の向上を図るとともに、受注量向上を目的とした技術研修会の開催拡充も挙げ

た。

当日は、同協会管路部

の総会も開催された。

井上敬介部会長が「自治

体やコンサルタントから

の問い合わせが増加して

いることから、今後の需

要拡大が大いに期待でき

る。当部会の知名度向上

を図りながら新技術開発

を推進して下水道インフ

ラの維持保全に貢献し、

会員企業の事業発展につ

なげたい」と挨拶した。

新年度の事業計画とし

て、展示会出展を中心に

部会の知名度向上を図る

ほか、審査証明を活用し

た啓発活動を推進する。

また、専門技術者認定試

験・更新研修実施による

技術者の育成を挙げた。